

JAきそ

JA木曽広報誌

7

July

2025

No.437

Monthly Magazine JA KISO



2025年版応募入賞作品「満開のソバの花」(木曽町開田高原) 撮影者: 青木敬次様(木曽町)

特集① 第52回通常総代会開催

特集② JA木曽長期ビジョン2025-2027 3ヵ年計画

特集③ 新役員執行体制が決まりました

■ 営農情報だより…水やりを変えよう！



© みんなのよい食プロジェクト



トピックス & ニュース

地域、JAのさまざまな情報をお届けします

※各ニュースには、SDGs（持続可能な開発目標）の17の目標を表示しています。

たくさん実りますように！福島小学校4年生2回目の米作り

6月13日 「お米作り体験会」を開催し、木曽町福島小学校の4年生の児童32人が参加しました。

組合員から借りた水田に、児童は裸足で入り一列に並びJAの営農技術員の指導で目印の線に合わせて「こしひかり」の苗を4～5本ずつ植えました。

2年前にも米作りの体験をした4年生。2年前は転んで泥だらけでしたが、すぐに慣れ手植えも移動もスムーズで上手に植えることができました。オタマジャクシなど田んぼの生き物を捕まえる児童、植え終わってももっとやりたいと言う児童、田んぼでのいろいろなことを学んでいました。

体験会は、食と農の体験機会を提供することで、よりJAへの理解を深めてもらうことを目的とした取組のひとつで今年は4年目です。秋には稲刈りや米の試食会を予定しており昨年に続き県立木曽病院へ収穫した米の寄贈も計画しています。今後も農業を通して地域住民と職員が関わる機会を増やし、食と農で地域貢献に取り組んでまいります。



田植えをする児童



前回比上まわる 6月家畜市場

6月5日 長野県中央家畜市場で定例6月市場が開催され298頭の取引が成立しました。子牛全体の平均価格は646,969円（税込み）で、前回4月より18,671円上まわりました。木曽管内出荷頭数は83頭で平均価格は前回より12,214円上まわり628,457円（同）となりました。6月に入り枝肉の相場は低迷していますが今回の市場は人気の種雄牛が多かったことや新たな購買者の来場があったことで価格が下がることなく活発な取引が行われました。



6月市場のセリの様子



啓翁桜生産者 夏の管理を確認

6月16日 啓翁桜の夏管理とお正月需要に合わせた年内出荷に向けた試験説明会を開催し、生産者や行政の関係者6人が参加しました。

啓翁桜は新葉が揃った時期に枝の皮を剥く「環状剥皮」を行うことにより花芽を多く付けることができます。高品質な物を栽培するには必要な作業であり生産者と作業の確認を行いました。

また今年よりお正月の需要期に合わせた出荷に試験的に取り組み、試験内容について木曽農業農村支援センターの担当より説明がありました。お正月は最大の需要期の1つであり、農家所得向上のために取り組みます。



皮を剥いだ枝

御嶽はくさいの出荷始まる

当JA主力品目の「御嶽はくさい」の出荷が6月中旬から木祖村で始まりしました。6月17日 木祖村飯米原のほ場では生産農家奥谷渚さんと家族の皆さんが早朝から、4月中旬に苗を植え順調に育ったハクサイを収穫し段ボール箱に詰める作業に励んでいました。

この日木祖村小木曽予冷庫には2軒の農家から約700ケースのハクサイが出荷されました。もう一つの主産地の開田高原でも6月下旬から出荷が始まりました。



御嶽はくさいの収穫をする奥谷さん家族



皆様からの情報提供をお待ちしています。

J A木曽企画管理部 ☎0264-22-2128

3年目となったJA職員野菜作り体験

6月8日 JAの職員有志が野菜作り体験の活動を木曽町日義の組合員のほ場を借りて始めました。子どもと一緒に参加した職員も3組増え、農業経験の少ない職員を中心に20人でサツマイモや、ピーマンなど野菜の苗の定植とヒマワリの種まきを営農技術員の指導を受けながら行いました。JAは今年度からの3ヵ年計画(2025-2027 ぐらしの分野)で協同活動を通じた組合員とのつながりづくりをテーマに掲げ、職員の農業体験も「国消国産」運動の一環とし、「食」と「農」の情報発信と理解醸成を図るための機会としています。今後も数回の作業を予定しており、職員同士の交流を深める場とすることも目的に多くの参加を呼び掛けています。



苗を植える参加者

子どもたちに伝える郷土の「食」

6月16日 女性部奈良井支部が奈良井公民館で朴葉巻き作りを行いました。毎年恒例の活動となっており、今年は460個余りを部員と職員で作りました。奈良井地区では朴葉餅とも呼ばれる伝統のお菓子作りを子どもたちに伝えることを目的に榑川小中学校へ参加を呼び掛け、3年生の児童10人が参加しました。核家族が多く家庭で作る機会も減っており、初体験の児童もいましたが米粉の生地であんこを上手に包みました。朴葉の葉で包む際も苦戦していましたが出来上がると喜んで持ち帰りました。蒸し上がるまでの待ち時間に、児童から「朴葉巻きはいつごろから作られているのか」などの質問に答えたり蒸す様子を見学したりしました。これからも続けたい女性部活動です。



あんこを包む児童

女性部だより

長野県リーダー研修会で活動発表 県代表に！

6月11日 JA長野県女性協議会のリーダー研修会が長野市JA長野県ビルアクティホールで開催され女性部員と事務局職員19人が参加しました。当JAと信州諏訪、長野八ヶ岳の3組織が活動を発表しました。

当JAの出口部長は小学生とのお米調理実習や、野菜作り、役員との懇談会など日ごろの活動を発表しました。

この発表は7月10日にさいたま市で開催される関東甲信越地区女性組織リーダー研修会で発表する県代表を決める審査を兼ねており、見事県代表に選出されました。



発表する
出口部長



王滝支部 山菜取りイベント

6月5日 王滝村が主催し、女性部王滝支部が協力する食文化継承事業第1弾の山菜取りイベントが開催されました。女性部員や村民、長野県立大学健康発達学部の中澤弥子先生と学生6人が参加しました。はじめに王滝村銀河村キャンプ場でグループに分かれて山菜を取り、天ぷらに調理して食べました。支部長の瀬戸エイコさんが講師を務め、山菜の名称や採取する際の注意点、食べ方を指導しました。瀬戸さんらが用意した数種類の山菜も加わり、調理のコツを教えあいながらたくさんの方々が天ぷらができました。

自己紹介では好きな山菜や調理法を話し楽しく交流できました。



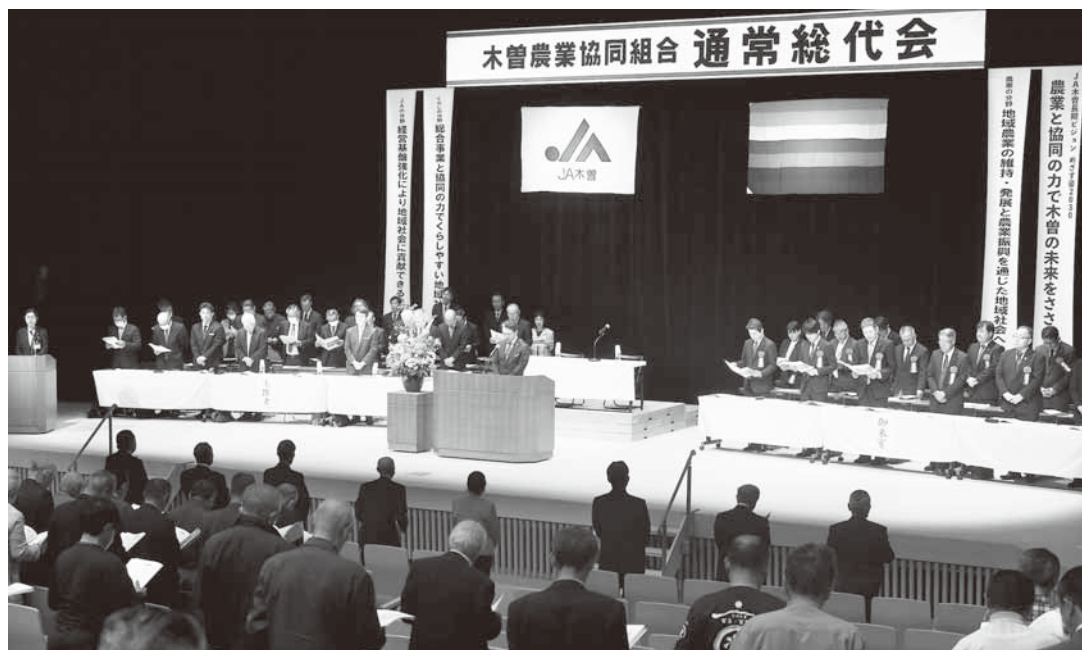
山菜を取る参加者



瀬戸支部長（左から2番目）
から説明を聞く

第52回 通常総代会開催

「農業と協同の力で木曽の未来をささえます」



5月29日、第52回通常総代会を木曽文化公園文化ホールで行いました。総代507人のうち、本人出席132人、書面出席325人、合計457人が出席しました。

令和6年度の事業報告、次期3ヵ年計画と7年度事業計画など全6議案を可決しました。また、「持続可能な農業に向けた基本農政の確立と国民理解醸成に向けた緊急決議」を提案し承認しました。



農協の使命は農業農村の振興 地域社会に活力を

冒頭のあいさつで田屋万芳組合長は、「異常気象や自然災害のリスクや組合員・生産者の高齢化等が進み、農協の事業活動は厳しさを増している。農協の使命は相互扶助の精神に基づき農業農村の振興を図り地域社会に活力を与えること。組合員との対話活動を継続し役職員一丸となって取り組む」と決意を述べました。

令和6年度 事業の概況

令和6年度は、今次3ヵ年計画の最終年度としてJA木曽長期ビジョン2030をめざして「農業の分野」「くらしの分野」「JAの分野」それぞれの基本目標に向かい役職員一同実践してまいりました。

コロナ禍前に近い社会活動となりましたが、不安定な世界情勢の影響等から原材料価格の高止まり等先行き不透明な状況が続きました。管内の農業は生産資材の高騰や夏場の高

温等により農業経営は厳しさを増し、生産者の減少や高齢化、耕地面積の減少など生産基盤の縮小が続いています。

このような状況のなか6年度は、信用、購買の主要事業をはじめ各部門で前年を上回る実績を上げたことにより事業総利益約10億5千万円、計画通りの事業利益を確保しました。経常利益は約7千5百万円、当期剰余金は約5千2百万円という結果になりました。

第52回通常総代会提出議案

第1号議案

令和6年度事業報告、剰余金処
分案の承認について

第2号議案

JA木曽長期ビジョン
2025-2027

3ヵ年計画の策定について

第3号議案

令和7年度事業計画並びに収支
計画の設定について

第4号議案

役員の選任について

第5号議案

令和7年度における理事及び監
事の報酬決定について

第6号議案

役員退職慰労金の支給について

令和7年度事業計画 基本方針

3カ年計画の初年度となる令和7年度は、振興品目の普及や有害鳥獣・病害虫対策を通じて作付面積維持に向けた取り組みを強化します。また、食料安全保障の観点から国民が必要として消費する食料は、なるべくその国で生産するという考え方を「国産消費」を通じて地産地消と食農教育への取り組みにより、組合員・地域の皆さまや全国に木曾の農産物の魅力を伝えて地域の活性化につなげます。また、総合事業運営における働きやすい職場環境の構築により経営基盤を強化してまいります。

重点項目

- ①優良品目や振興品目の提案並びに有害鳥獣・病害虫対策により農業収入増加をめざすとともに、耕作意欲が持てる環境づくりを進めます。
- ②「食」と「農」を基軸とした協同活動を通じて組合員とのつながり強化と地域の活性化をめざします。
- ③総合事業運営における働きやすい職場環境の構築により経営基盤を強化します。



議長を務められた
南木曾町の岡庭緑朗さん（左）と
塩尻市榑川の小椋一二三さん（右）



議案採決で賛成の挙手をする
総代の皆さん



受賞者の皆さん

総代会表彰式（敬称略）

《受賞者》

★退任総代会への感謝状

田中ひろ子

（中部支所）

★退任地区運営委員

への感謝状

征矢東洋雄

（中部支所）

★退任部会長への

感謝状

前JA木曾

民宿部会長

島尻 淳

★JA事業功労者への

感謝状

前JA共済診査医

奥原 佐

★定年退職者への

感謝状

塚澤 孝

JAグループは、地域の農業と

くらしを支えています。

- 農畜産物の流通・販売
- 肥料や家畜のエサなどの共同購入
- デジタル技術の活用
- 農業を始める方たちの支援など

農業支援



- 地域でとれた新鮮な農畜産物などを届ける

JA直売所



くらしを豊かにする活動

助け合いの精神で
運営する協同組合

地域に寄り添う様々な事業

- 地域の子どもたちに食と農の大切さを伝える
- 子ども食堂の支援
- 移動購買車の導入で買い物物をサポート
- 子育て支援

地域貢献 食農教育



- 地域の健康と安心を守り支える

病院 高齢者福祉



- 病気や事故、災害など万に備える

共済



- 貯蓄や融資金融などでくらしを支える

金融



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

J A木曽長期ビジョン 2025-2027 3ヵ年計画

長期構想ビジョン 2030めざす姿

農業と協同の力で木曽の未来をささえます

当組合は、J A木曽長期構想ビジョン2030めざす姿「農業と協同の力で木曽の未来をささえます」の実現を長期的な目標に掲げ、木曽地域や農業が活性化している姿を描いて、令和4年度からの1期目となる3ヵ年計画（2022-2024）を実践してまいりました。

J A木曽の2030めざす姿実現に向けて、これまでの取り組みを総括し、直面する課題を捉え、社会情勢の変化や組合員ニーズの多様化を踏まえて、「食」と「農」を基軸とした互いに助け合い協力し合う“協同の力”を発揮した事業・活動によって、2期目となる3ヵ年計画（2025-2027）における経営戦略・戦術を策定し遂行してまいります。

めざす姿2030

農業の分野	くらしの分野	J Aの分野
持続可能な木曽農業の実現 大規模から小規模のあらゆる農家層へそれぞれのニーズに合った支援を実施し、経営向上や生きがいがづくりで、持続可能な農業や産地の維持、農業収入の増大をめざします。	木曽地域における組合員とJ Aの役割発揮 総合事業を通じて組合員や多様な関係者とともに協同の力でくらしやすい地域社会の実現をめざします。	持続可能な経営基盤の確立 地域において農業協同組合として総合サービスを提供できる経営の健全性を確保し事業発展に向けた投資と組合員還元が果たせる姿をめざします。
基本目標		
地域農業の維持・発展と農業振興を通じた地域社会への貢献	総合事業と協同の力でくらしやすい地域社会の実現	経営基盤強化により地域社会に貢献できる元気なJ A
3ヵ年で重点的に取り組むテーマ		
①販売力強化とコスト削減による農業所得増大への挑戦 ②持続可能な農業生産基盤の維持	③「食」と「農」を基軸とし、協同活動を通じた組合員とのつながりづくり ④協同活動を通じた事業利用の普及と事業運営効率化による組合員メリットの創出	⑤不断の自己改革の実践とJ A版人的資本経営を基軸とした経営基盤強化 ⑥自己改革実践に向けた組合員との対話活動と意思反映の取り組み強化
自己改革工程表		
農業者の所得増大・農業生産の拡大	地域の活性化	経営基盤の確立・強化
◎販売農家育成・生産者収量増加対策による販売拡大 令和7年度目標：272,000c/s ◎振興品目野菜の取引の拡大を通じた売上増加 令和7年度目標：720万円 ◎生産資材予約率向上によるコスト低減 令和7年度目標：予約率65% ◎木曽地域の子牛出荷頭数維持 令和7年度目標：420頭	◎食と農のイベント参加者数 令和7年度目標：100名 対話・意思反映 令和7年度計画： ・正組合員との訪問・対話 ・地区別懇談会 ・組合員の意見はがき ・組合員とJ A職員の交流活動	◎農畜産物販売高 令和7年度目標：10億7千万円 ◎グリーンファーム店供給高 令和7年度目標：9千万円 ◎ネット注文・定期購入利用者数 1,000人

新役員執行体制が決まりました

任期満了に伴う役員選任が5月29日の第52回通常総代会で承認され、5月30日に開催された理事会・監事会においてJA運営の新執行体制を審議し、決定しました。



代表理事組合長
亀子 宗樹

この度の役員改選により代表理事組合長に選任されました。常務理事を1期3年務めて参りましたが、改めて責務の大きさを痛感するとともに、浅学非才の身であります。組合員の皆様のご指導とご支援を賜りながら職務に邁進する所存です。

総代会でご承認いただきましたJA木曽の新3カ年計画は、アンケートや対話活動、広報誌などを通じて、組合員の願いや想いが寄せられています。少子高齢化社会が直面する課題に対し、地域が持つ潜在的な可能性を信じ、これからの人とのつながりを大切にしながら、持続可能で豊かなJAづくりに向け実践して参りますので、皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



代表理事専務理事
糸川 光弘

この度の役員改選により代表理事専務理事に選任されました。

木曽の農業・JA木曽を取り巻く環境は依然として厳しい状況下であることに変わりなく、責任の重さを痛感しています。組合員・利用者の声を真摯に受け止めながら地域農業の維持・発展と農業振興を通じた地域社会への貢献ということ意識しつつ皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りながら事業運営に取組んで参りたいと思います。

若輩者ではありますが、地域の皆様から必要とされるJAづくりに誠心誠意努めて参ると共に皆様方の身近なJA役員で在り続けるよう努めて参ります。そして山積する各種課題を一步一歩乗り越えながら経営基盤の強化を図り、持続可能なJAづくりにも邁進する所存です。今後、更なる皆様方のご協力とご支援をお願い申し上げます。



理事金融共済部長
芝波 田 豊

この度の役員改選により理事金融共済部長に就任いたしました。

JA木曽を取り巻く環境は外部要因を主体に年々厳しさを増す中であり、改めて責任の重さを痛感しております。JAバンク・JA共済の一員として、組合員・地域住民の皆様が何が出来たのかを考え、ライフステージに寄り添った相談体制の構築等を検討する中で、総合事業の強みを活かしてニーズに即したご案内、ご提案をして参りたいと思っております。

JA木曽が持続可能な木曽農業の実現に向けて進んでいくために、微力ではございますが、組合員・地域住民の皆様から安心と信頼を頂けますよう誠意をもって取り組んで参る所存ですので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

理 事



寺平 暁夫 新井 光一 志水 敏春



長瀬 英治 常盤井博幸 澤口久美子

監 事



員外監事 山岸 哲夫 常勤監事 高樋 昌憲 代表監事 唐沢 清七

今期より役員の定数が変わりました。従来どおり各地区で運営委員長は選出されており、理事と運営委員長が連携して組合員の声をJAの運営に反映してまいります。

各地区の運営委員長は左記のとおりです。

楢川地区	小嶋 正則	三岳地区	中洞 修二
木祖地区	寺平 暁夫	王滝地区	大家 親
日義地区	征矢野 武	上松地区	新井 光一
福島地区	原 敏明	大桑地区	常盤井博幸
開田地区	志水 敏春	南木曽地区	長瀬 英治

営農情報だより



ご相談・お問い合わせは 農業生活部 農事園芸課 ☎(0264) 23-3310 農事園芸課 五島 昌近

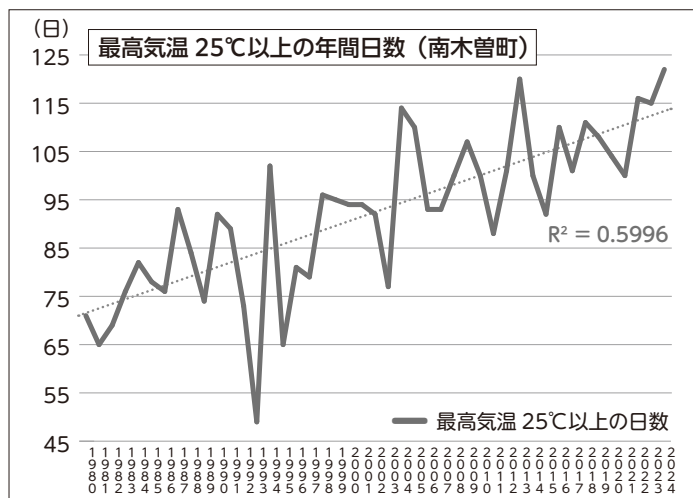
水やりを変えよう!

◆暑いのは人間だけではありません。野菜も暑いのです。

ここ数年、「猛暑日・熱中症」を聞かない夏はありません。

その人間が熱中症になるのだから、野菜もなおさらです。しかも野菜は自由に移動できません。このように考えると、質的に変化した暑さに対して、今までの「水やり方法」が通用する訳がありません。

今月は野菜栽培における「水やり」について考えます。



左図は、南木曽町における最高気温25℃以上の年間日数を示したグラフです。

昨年(2024年)、南木曽町の最高気温25℃以上の年間日数が、はじめて120日を超えました(122日)!

つまり1年の3分の1が夏日を記録したということになります。年間平均気温も昨年はじめて「13℃」になりました。

気温25℃以上の年間日数が増えた影響は…

- ①生育速度の早期化
- ②肥料溶出の早期化
- ③病害虫の発生区域の拡大化 …です。

右表は同じく南木曽町の5～9月までの降水量・平均気温・日照時間の表です。夏とは公式には6～8月の3ヶ月を示します。しかし、9月の数値を見て下さい。

本来は「夏」とされる6月に比較し、

●平均気温は2.5℃上昇

●日照時間は0.2時間減少

…という結果になりました。

つまり「夏は4ヶ月間ある」、と仮定できます。ここがポイントです。

9月は「野菜の高単価月」として知られ、9月の水分管理は経営上も重要な農業技術ということになります。

◆だから、この夏、水やりを変えましょう!

では具体的にどのように「水やり」を変えたらよいのでしょうか?

次の5点を参考に、ご自身の水やりを考えて下さい。

- ①水やりは早朝が勝負です。「少量・回数多く」が原則です。
- ②果菜類は、1株1日2リットルが基本。通路にも必ず水やりしましょう。
- ③液肥はとても有効ですが、「効き目は1週間」と考えましょう。
- ④水分吸収は根が原則です。葉面吸収の苦手な野菜もあります。
- ⑤毎日、野菜と会話しましょう。ヒントをくれる瞬間がきっとあります。



◆「水やり3年」と言われますが、「水やり13年」と考え技術を磨きましょう!

秀作

- ① 夕闇を照らさんとてかその淡き光は愛し宵の明星
大桑 科野 八重
- ② 米価高騰に政界ゆれてどの集いにも政治不信と米が話題ぞ
日義 越取 思正子
- ③ 山菜に飽きたる口に名古屋飯 海鮮料理に舌鼓せり
南木曾 小 椋 シガ子
- 【選評】①西の夕空に光る金星を「愛しい」と表現されており、亡くなられたご子息様を偲んでの作品と想像する。格調高く深い歌。
②「令和の米騒動」とも言われる事態が発生し、米の価格の高止まりが続いている。生産者である作者は今後の農政を問う。
③名古屋市に出掛けられての歌。山菜を飽きるほど食べられるのは、木曾に暮らす恩恵。ユーモアがあつて楽しい作品。

佳作

- 贈り来し花見詰めつつ今思ふ父の日も母の日も無く働きし父母を
木祖 佐々木 千代子
- 歩行器にたよる生活が日々となり料理作りが頭の体操
木祖 武重 慧
- 木曾ヒノキ植えて間もなくカモシカに喰われて呆然 再挑戦だ
木祖 唐澤 達夫
- 備蓄米五キロ二千円を放出せし破竹の勢ひ若き農相
新開 池井 十与子
- 耕せば土は目覚めて黒々と並びぬる畝に花卉の散る
王滝 三浦 美春
- 「同じ道」と言い残したる義母なりき脳裏掠める蹟くたびに
三岳 小坂 信子
- 抱卵の小鮫鰯愛らしき眼に無事の巣立ちを願ふ
三岳 大豆 ふみ子
- ハナミズキ湯の街石和に咲き誇り姉妹にて散策すシルバークー頼り
大桑 金澤 紀子
- 老いてより親しくなりし友なりき旅立ちゆきて胸に風吹く
大桑 高橋 志げ子
- 細き糸二人で撚りたる命綱よくぞ持ちたり九十坂まで
大桑 樋田 平好
- 桜の花仰ぎて若き日の苦勞を語る古老の威厳ある皺
明石市 小田 慶喜
- 豆飯と筍飯のおにぎりが弁当箱に並ぶ幸せ
明石市 小田 和子

短歌募集

※一人ハガキ1枚に未発表作品2首以内を記入し、住所・氏名・電話番号を明記のうえ、下記へ投稿してください。
【投稿先】〒397-0001 木曾郡木曾町福島2800 「JA木曾本所企画管理部 JA歌壇 係」行
[《9月号掲載作品を募集中です》編集の都合により、7月末日までの到着はがきにて選考いたします。]

残雪の駒連峰や古代文字
新緑に心も染まる散歩路
白き花木曾谷にふへ夏来たる
雨しとど競ひて色増すあやめ草
風にのりピアノの音色春惜しむ
折り取れば雫滴る蕨狩
窓磨き終へて一服雉間近
新緑の山並抜けてシャトルバス
葉桜のトンネルに消ゆ定期バス
壺焼きの煮汁噴き出て九十九里
老ゆえに目深にかぶる夏帽子
石楠花の満開に咲き日を受けて
久々の友とのランチ風薫る
著莪の花狭庭に密と目覚めけり
目の前の牡丹はらりと散りにけり
爺の焼くタコ焼きパーティー子供の日
川すがし若葉眼にしむ木曾路かな
早朝は一枚羽織る青時雨
青梅雨や昭和の話ほどばしる
新緑や赤子の猿はつづらなり
桃介の恋のつり橋風薫
高齢者免許更新風光る

大桑 樋田 平好
明石市 小田 和子
南木曾 小 椋 美江
王滝 小 山 誠
上 松 奥 原 昭子
上 松 堀 川 悦子
福 島 圃 中 英実
上 松 福 邑 忠
王滝 水 宅 ゆき
大桑 加 藤 孝治
木祖 佐々木 千代子
上 松 武 居 和江
福 島 和 田 迪子
上 松 池 田 郁代
木祖 岩 原 政広
上 松 石 田 なつ子
三岳 山下 千恵子
賛 川 小澤 ゆずりん
開 田 橋 本 和子
木祖 長 尾 孝之
南木曾 加 藤 とし子
大桑 木戸口 さつき

【選評】

●平好さん…山々の残雪の形を何になつたとか云われますが駒ヶ岳の雪形は古代文字とのこと。古代文字とはどんな形になっているのだろうと
思つた。
●和子さん…新緑の色、香りの一番良い季節。心も染まるそんな感じをうける。
●美江さん…辛夷が咲き藤や山桜、つつじ、さつきなど木曾谷の山は楽しませてくれる。白い花は花水木かもと想像してみた。

選者の一句

梅雨に入る石の木曾川波のたつ

俳句募集

※一人ハガキ1枚に未発表作品3句以内を記入し、住所・氏名・電話番号を明記のうえ、下記へ郵送してください。
【投句先】〒397-0002 木曾町新開2795-2 「古坂 房 先生」宛
【締切日は設定しません、いつでもご投句ください。《毎月発表しています》】



脳トレ！ 手足の体操

健康生活研究所所長
堤 喜久雄

グーパー体操で左右の脳を使い分ける

グーの上にパーを付けて左右交互に入れ替える体操です。左右の脳の使い分けと同時に脳の血行も促進します。小さい動きから始め

て、だんだん腕や肩も大きく動かしていきましょう。慣れてきたら、パーの上にグーを付ける逆の動きにも挑戦してみましょう。

グーパー体操



(1) 左手をパーにして、グーにした右手の上に付けます。



(2) すぐ手を入れ替えて、右手をパーにして、グーにした左手の上に付けます。(1)(2)を交互に繰り返します。

応用



(1) 左手をパーにして腕を立てます。右手はグーにして腕を横に倒し、左肘に付けます。



(2) すぐ手を入れ替えます。右手をパーにして腕を立て、左手はグーにして腕を横に倒し、右肘に付けます。(1)(2)を交互に繰り返します。



なくそう食品ロス

食品ロス問題ジャーナリスト
井出 留美

令和の百姓一揆

2025年3月30日、「令和の百姓一揆」が日本各地で行われました。東京都には全国からトラクター33台、農家を含む市民が4500人集まり、私も実行委員として参加しました。この日は他に13道府県で「令和の百姓一揆」が開催されました。

政府はこれまで減反政策を導入し、2018年の廃止後も実質上、米の生産抑制が続いてきました。

一方、企業から出される廃棄食品を飼料などにリサイクルしている株式会社日本フードエコロジー

センターには、1日約8トン、年間約2920トンの米飯が食品ロスとして運び込まれます。1社だけで年間茶わん約1946万杯分の米飯を処理しています。しかし、これは食品ロスの冰山の一角に過ぎません。日本では米飯を含む食品ロスの大半は再利用されずに焼却処分されているからです。

2025年4月24日付の『日本経済新聞』では、2025年度の民間米輸入量が前年度比で約20倍になり、その過半が米国産になると報じられました。2025年4

月下旬、日本政府は米国からの米輸入拡大を視野に入れているとしています。



農林水産省は、日本の農家の平均年齢は69・2歳（2024年度）、全国の農地の32・8%で後継者不在（2025年4月）と発表しました。今すべきは海外からの輸入拡大ではなく、政府が国内農家の支援策を講じることではないでしょうか。

「令和の百姓一揆」実行委員会の事務局長・高橋宏通氏は「減反しておいて輸入拡大は納得できない」「日本の農業が苦しいのに、なぜ米国のために日本が税金を出して米を買わなければならないのか、非常に不満」と取材に答えています。

食品業界では毎日、米飯を大量に廃棄しています。欠品すると売り上げを失うので多く製造し、食品ロスではなく販売機会の損失を防いでいます。米が不足しているなら、まず毎日の膨大な量の米飯の廃棄をやめるべきでしょう。

J Aからのお知らせ

理事会だより

●7月1日(火)開催

【協議事項】

- ①5月末(第1四半期決算)事業状況について
- ②マネロン対策にかかる理事会への取組状況報告について
(マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の実施状況にかかる実態調査報告(2025年3月末現在))
- ③令和6年度ディスクロージャー誌について
- ④諸規程の改正について
- ⑤役員賠償責任保険の更新について
- ⑥組合員の出資口数の減資について
- ⑦木曽地域振興(株)第1四半期決算の状況について

【報告事項】

- ①業務一般経過報告について
- ②組合員の状況について
- ③農業生活事業報告について
- ④金融共済事業報告について
- ⑤第1四半期余裕金運用状況について
- ⑥令和7年度第2四半期余裕金運用方針の報告について
- ⑦自主(自店)検査結果について(4月・5月)
- ⑧広報JAきそ「組合員の声を聴く」投稿報告
- ⑨組合員の脱退について ほか

JAバンク 年金相談会のお知らせ

年金の専門家が分かりやすく相談に応じます。ご相談には基礎年金番号通知書(夫婦)、年金定期便(夫婦)、雇用保険被保険者証、印鑑をご持参ください。

・7月17日(木) 中部支所
相談時間 10時～15時30分



インターネットで年金相談会予約受付中!
JA木曽のホームページより予約できます。

虹のホールきそからのお知らせ

■「なんでも相談会」開催ご案内

月 日	場 所	時 間
7/21(月)	J A 虹のホールきそ	9時～17時
7/27(日)		
8/2(土)		
8/8(金)		
8/14(木)		

■虹のサークル御礼

第1回虹のサークルのご参加ありがとうございました。次回も楽しいサークルになればと思います。これからも初めて参加される方も大歓迎しております。ぜひお問い合わせください。

次回は、8月24日(日)ココナッツアレンジ教室です。詳細は後日お知らせいたします。

J A虹のホールきそにて7月末まで、盆提灯、お盆ギフトの展示を行っております。家紋入り盆提灯は7月末までの受付となりますので、お早めにご注文ください。

よろしく願いいたします。



J A虹のホールきそ

長野県木曽郡木曽町福島6448番地1
☎0120-23-2513 ☎0264-23-2513

歯科診療所お盆休みのお知らせ

J A 歯科診療所はお盆期間の8月13日(水)～15日(金)を休診させていただきます。

『家の光』『地上』『ちゃぐりん』『やさい畑』の 定価改定について

四誌の定価を2025年9月号より
右記のとおり改定いたします。
ご理解のほどよろしくお願いいたします。

誌 名	2025年8月号まで		2025年9月号より (毎号統一価格)
	定 価 (税込)		定 価 (税込)
家の光 JEAN HIKARI	普通月号	629円	900円
	特別月号	922円	
	12月特別号	1,027円	
地上	普通月号	618円	750円
	特別月号	680円	
ちゃぐりん ちやぐりん	普通月号	492円	600円
	特別月号	576円	
やさい畑	各 号	922円	1,100円 ※秋号より

2026年版

J A木曽 広報誌等表紙写真募集



- テーマ 『木曽の風景』『木曽の人びと』…将来も残したい木曽の景色・農業・暮らし、農村の四季の風景や風物詩、農作業の様子
- 撮影地域 J A木曽管内（塩尻市榑川地区含む）で2023年1月1日以降に撮影したもの。
- 応募締切 2025年（令和7年）9月1日（月）
- 応募資格 J A木曽管内（塩尻市榑川地区含む）に在住の方（県郡外者は木曽出身者に限ります）。
- 応募規格 (1)デジタルカメラ、スマートフォンで撮影したカラー写真に限ります。（800万画素以上、解像度300dpi以上、JPEG形式、最高画質モード、合成、加工・修正・組写真不可）
(2)写真サイズは横長・縦長問いません。
(3)被写体の肖像権（顔の判別不可含む）や場所については撮影者が必ず了解を得てください。
- 応募方法 (1)応募作品のプリント見本（カラープリントA4判）をご提出ください。
一人何点でも応募可能です。ただし、未発表の作品に限ります。
(2)応募作品の裏面に下記項目を表記した応募票を貼付してください。
①住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号 ⑤タイトル ⑥撮影地、撮影時期（年月日）
※J A木曽ホームページにも応募票を掲載しておりますので印刷して使用してください。
- 審査 J A木曽の関係者等により厳正に審査を行います。
- 発表 審査結果は、J A広報誌、ホームページ等で発表します。採用者には別途、審査結果をご連絡し、写真データ（CD-R又はEメール）を提出していただきます。
- 賞品 ・採用作品1点につき J Aまごころ商品券10,000円
・応募者全員に参加賞を進呈

応募に際しては、応募上の注意事項等を定めた応募要項がありますので必ずご覧ください。J A木曽各支所、本所にご用意しています。当J Aのホームページでもご覧いただけます（アドレス 本誌16p欄外参照）。

応募作品送付と
お問い合わせ先

〒397-0001 木曽郡木曽町福島2800 J A木曽 企画管理部 組合員課 広報係
電話 0264-22-2128 Eメール kouhou@kis.nn-ja.or.jp



介護センターからのお知らせ

補聴器相談コーナー設置しました！



聞こえについて不安、心配などありませんか？
一人で悩まないでお気軽にお声をかけてください！

ご安心ください！

- ★専門スタッフが相談に応じます。
- ★予約不要、当日ご来店ください。
- ★来店できない場合は、ご訪問もできます。その場合はお電話でご予約ください。

しつこい

押し売り、セールス一切しません！！

聴力測定だけでもOKです。

まずはご自分の現在の聴力を確認することから始めてみませんか？

聞こえの相談会（毎月第1木曜日開催）

開催日：8月7日（木）、9月4日（木）、10月2日（木）、11月6日（木）
時 間：午前10時～午後2時

★お気軽にご相談ください（新聞折込みでもご案内いたします）



ご相談・お申込み：J A木曽 介護センター TEL：0264-21-2113



玄米保冷库

業務用冷蔵庫の
トップメーカー ホシザキ

ロングラン
5年保証

信頼の
日本製

ご不要な
玄米保冷库
米保管庫

無料引取り

玄米保冷库本体とスチール棚

玄米保冷库本体

同時にご購入の方に限り

ご不要になった同等サイズの

玄米保冷库または米保管庫を

スチール棚 1台無料引取り処分致します。

ご希望の方は、玄米保冷库・スチール棚の申込番号に加えて

無料引取り申込番号27018もあわせてご注文ください。

くわしくは

通話料無料 ☎0120-889-147 までお問合せ

※ご購入1台につき無料引取りは1台限り※お届け当日のお申込は不可。

※解体作業をとらなうパネル型やプレハブ型は引取り対象外となります。

省エネ
消費電力
約40%
削減!

kakasi.com

ホームページ

さらに詳しく!

スマホでアクセス

QRコード

スチール棚は別売です



6袋タイプ 標準仕様 安心価格

183,900円



10袋タイプ 標準仕様 安心価格

204,900円



14袋タイプ 標準仕様 安心価格

209,900円



14袋タイプ 標準仕様 安心価格

209,900円

玄米保冷库	ホシザキ製	HZ25	■価格表		申込番号	設置込み 送料込/税込価格	外寸(約cm)幅×奥行×高さ (内寸(約cm)幅×奥行×高さ)	重量 (約)	定格消費電力 (50/60Hz)	電気代目安 (1ヶ月当り(年間平均値) (50/60Hz)
			6袋 (3袋)	10袋 (5袋)						
			標準仕様	標準仕様	27001	183,900円	60 × 78.1 × 163	54kg	150/160W	380円/369円
			高性能 40℃仕様		27002	208,900円	50 × 67 × 120	57kg	165/180W	332円/328円
			標準仕様	標準仕様	27004	204,900円	85 × 78.3 × 148.1	60kg	150/160W	391円/391円
			高性能 40℃仕様		27005	229,900円	77 × 67 × 104	63kg	165/185W	339円/347円
			標準仕様	標準仕様	27007	209,900円	85 × 78.3 × 184.1	70kg	150/165W	391円/391円
			高性能 40℃仕様		27008	234,900円	77 × 67 × 140	73kg	170/185W	339円/347円

●外気温が低い場合は設定温度以下になり、運転を自動で停止します。●家庭用冷蔵庫より動作音が響く場合があります。

●電気代はあくまで目安です。使用状況によって異なる場合がございます。(1kWh当り27円/玄米モード運転で計算)●米袋のタイプによっては取

納しにくい場合がありますので、米袋のサイズと保冷库内寸を事前にご確認ください。●設置場所には米袋を含め数百kg以上の荷重がかかります。しっかりと床に設置してください。

別売 保冷库用スチール棚 ITC23 (ホシザキ用)

申込番号 送料込/税込価格

27003 10,990円

27006 13,490円

27006 13,490円

かしさんオリジナル

中国製

高さ調節19cm間隔
(6袋のみ10cm間隔)

1枚当り 6袋/約50kg

耐荷重 10・14袋/約30kg

サイズ 6袋/約49.2×59cm

10・14袋/約77.5×59cm

棚は玄米保冷库と別の

お届けになります。

グリーンファームだより

夏のおすすめ品

(価格は税込みです)

【除草剤】

畑で使える除草剤

●作物まわりの雑草だけ退治
散布液がかかった雑草だけが枯れます。

●畑のうね間で使えます。

●いろいろな作物で使えます

野菜、果樹、庭木、草

花など52作物のまわり

で使えます。

●土壌・環境にやさしい

土に落ちると自然物の

分解。

2ℓ 980円



草退治 E粒剤

・根まで徹底除草!

・約6カ月持続。

800g 1,040円



アースガーデン おうちの草コロリ

・食品成分生まれの除草剤

・ジョウロヘッド

2ℓ 1,010円



日産化学 ラウンドアップ マックスロード

・うすめて使う希釈タイプ

500ml 2,640円



新盆提灯

7月末まで展示販売中です



【猛暑対策グッズ】

ネッククーラーリング

・熱中症対策を

首周りから

890円



遮光折りたたみ帽子

・日差しをシャットアウト

・折りたたみ可能

2,150円



ザクザ 液剤

・素早く枯らし、長く抑える。

・根は残し、畦畔の強さは維持する。

・環境にやさしい。

500g 2,330円



7月のお休み：毎週水曜日、31日(木)…棚卸し休業日

営業時間：午前8：30～午後5：00 グリーンファームきそ ☎22-3061

その時、あなたは

食の未来も選んでいます。



日々のお買い物や食事は子どもたちの食の未来につながっています。食料の約6割を海外に頼る日本。いざという時に食料に困らないためにはどうすればいいのでしょうか。それには…

JAグループサポーター 林 修



私たちの国で消費する食べものは、



できるだけこの国で生産する

国消国産

を進めていくことが大事です。

そのために私たちが普段からできることは、「国産を選んで食べる」こと。それは、子どもたち世代の「食の未来を選ぶこと」なのです。

地産地消は、あなたにも、

地域にもいいこといっぱい。



地域で生産したものを地域で消費するのが「地産地消」。
その積み重ねが「国消国産」になります。

私たちの国で消費する食べものは、
できるだけこの国で生産する

国消国産



●地域でとれたものを食べる

●JA直売所で買う

●売り場で国産を選ぶ

●外食の時に国産食材を使っているお店を選ぶ

それが「国消国産」を進めるために私たちができること。「地産地消」と「国消国産」が、日本の食と農業の持続につながっていきます。



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ



まごころ宅配



お申し込み・お問い合わせは
J A木曽生活センター 0264-23-2112

～旬の食材やエコープマーク品を使ったお料理レシピ～

えびとトマト・アボカドのサラダ



一口メモ

トマトに含まれるビタミンCやリコピンなどの抗酸化成分は、肌の老化を促進する活性酸素を除去し、コラーゲンの生成をサポートする働きがあります。紫外線やストレスなど活性酸素が増えやすい現代において、抗酸化作用を持つ食品を日常的に摂取することはアンチエイジングの効果があるといわれています。また、アボカドにはビタミンと良質な脂質が多く含まれており、コレステロールを減らすリノレン酸が多く、動脈硬化予防や中性脂肪減少効果が期待できます。

作り方

- ① アボカドは1cm角に切り、レモン汁を全体にまぶします。
- ② トマトは1cm角に切ります。
- ③ ボイルむきえびはキッチンペーパーなどで水気を取り、半分に切ります。
- ④ ボウルに④を入れ、しっかりと混ぜます。
- ⑤ ④に①と②、③を加えて混ぜます。
- ⑥ 皿にレタスを敷き、⑤を盛ります。

材料 (2人前)

ボイルむきえび … 約100g	④	しょうゆ …………… 大さじ1
トマト …………… 1個		わさび …………… 適量
アボカド …………… 1/2個		オリーブオイル … 大さじ1
レモン汁 …………… 大さじ1/2		塩・こしょう …… 少々
		レタス …………… 適量

きりとり線

住 所 (〒)	
ふりがな 氏 名	年 齢 性 別 男・女
電話番号	職 業
組合員資格 (いずれかに○) 正組合員 准組合員 その他	
2025.7月号 クイズ答え (番号) ○ ○ ○	

J Aや広報誌へのご意見・ご要望など
(ご意見・ご要望は事業運営の参考とさせていただきます。)

身近な出来事、話題など
(広報誌にて紹介させていただく場合がございます。)

おたよりコーナー



令和7年5月に
いただいたおたより
から

5月連休に食べたスイカの種をまいたら芽が出ました。大切に育てたいです。昨年は種から育て9キロの大玉スイカが収穫できました。楽しみです。(三岳：出口さん)

タラの芽、オコギ、コシアブラ、フキ、ワラビ 山菜を楽しんでいます。(大桑：池口さん)

かなへびが庭に3匹いてかわいい。春の訪れを感じました。(大桑：栃羽さん)

職員の服装について

J A木曽では、SDGsと省エネルギーの取り組みとして働きやすい服装での勤務を令和4年から通年で実施しております。男性職員のノーネクタイ、女性職員が制服を着用しないなどの対応となります。

職員として信用と品位を損なわない節度ある服装を心掛けますので、皆さまのご理解をお願いいたします。



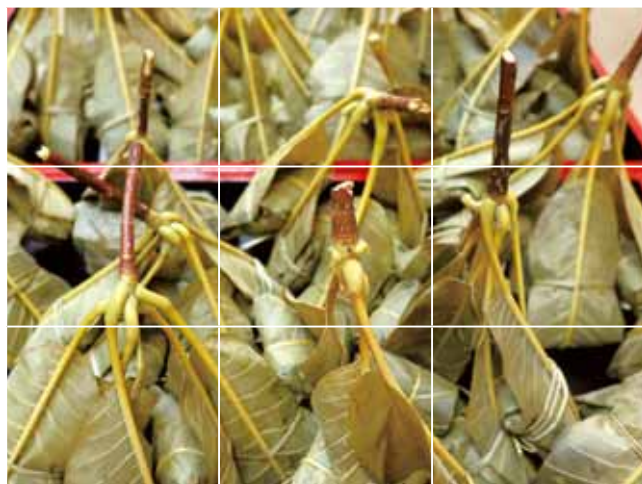
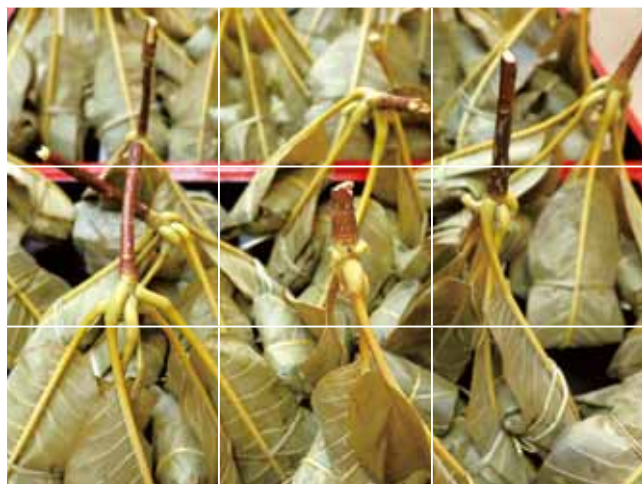
頭の体操

まちがいさがしに

挑戦!

今回は女性部奈良井支部で作った朴葉巻きからの問題です。左右の写真を比べると、3カ所の違いがあります。挑戦してください。クイズの解答を募集します。

きりと線



応募方法

右下のハガキを点線で切り取り、必要事項をご記入の上、JA木曽本支所窓口、A・コープきそ店備え付けの応募箱へお出しいただくか郵送してください。

JA木曽HPからの応募も可能です。

◎応募の締切 7月31日(木) 必着
投函日にご留意ください。

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

※出題エリアNoは、左図の通りです。番号を確認のうえ、ご記入ください。

※ただし、お一人様一通の応募とさせていただきます。
※印刷によるキズや汚れは関係ありません。

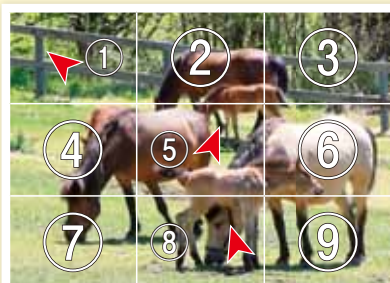
今月のプレゼント

正解者の中から抽選で10名の方に
国産小麦粉使用 手振りそうめん
300g入り1袋をプレゼント。

そうめんを食べて夏を乗り切り
ましょう!



6月号の答え



★当選者の発表は、賞品のお届けをもって代えさせていただきます。

『①・⑤・⑧』
(間違い探しの答えは▼ここ)

□発行:木曽農業協同組合
長野県木曽郡木曽町福島2800 〒397-0001 ☎(0264)22-2128

□発行人:代表理事組合長 亀子 宗樹

〈ホームページ〉

<https://www.ja-kiso.iijan.or.jp/>

2025.7月1日発行(印刷)木曽オールプリント(株)



環境に優しい再生紙とベジタブルインキを使用しています。



POST CARD

料金受取人払郵便

木曽福島局
承認

1020

差出有効期限
令和8年5月
31日まで
(切手不要)

3 9 7 8 7 9 0

JA木曽
頭の体操

まちがいさがしに挑戦 宛
(JA木曽「組合員の声を聴く」兼)

長野県木曽郡木曽町福島2800

